

患者・国民負担増計画の中止と 「保険で安心してかかれる医療を」求める請願

2006年 月 日

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願主旨

小泉内閣は、今国会に医療制度「改革」関連法案を提出、高齢者をねらい打ちした大幅な負担増を行おうとしています。また、医療保険制度を再編し、医療に対する国の責任を後退させ、自治体に責任を転嫁しようとしています。

すでに、保険料や自己負担をぎりぎりまで引き上げ、さらに高齢者までこれを拡大、そのうえ保険給付を削減、民間の医療保険へ国民を誘導して公的医療保険の空洞化をねらう、このような医療「改革」を進めれば、戦後培ってきた日本の医療はますます荒廃の一途をたどります。

また、4月から診療報酬の大幅な引き下げが強行されれば、病院など医療機関の収入を減らし、医療水準の低下や、いまでさえ深刻な看護師などの人手不足に拍車がかかることが危惧されます。

高額な患者負担と強引な医療費の抑制は、患者・国民の医療を受ける権利を脅かし、受診抑制による病気の早期発見・早期治療をさまたげ、かえって重症化による医療費の増加を招くものです。

「保険で安心してかかれる医療」が、患者・国民の共通の願いです。医療に対する国の位置づけと責任を強め、国庫負担の増額など財政措置を強化されるよう、下記の事項を請願します。

請願事項

1. 健保3割負担を2割負担にもどすなど患者負担を軽減すること
1. 入院時の食費、部屋代などの患者負担を増やさないこと
1. 高齢者の患者負担と保険料の引き上げを行わないこと
1. 必要な医療は公的医療保険で保障し、保険のきかない医療行為を増やさないこと
1. 医師、看護師の増員や医療の質と安全性が確保できるように診療報酬を改善すること

氏 名	住 所

日本医療労働組合連合会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 URL <http://irouren.or.jp>
TEL 03-3875-5871 FAX 03-3875-6270

中央社保協

中央社会保険推進協議会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12 E-mail syahokyou@mwe.biglobe.ne.jp
TEL 03-3401-2743 FAX 03-3401-2745